



おおあめ こうずい かわ さかな
大雨や洪水のとき、川の魚たちはどうしているの

かわ ぞうすい なが はや かりゅう なが
川が増水すると、流れも速くなり下流に流される

おおあめ たいふう あと かわべ い かわ みず いろ みず
大雨や台風の後、川辺に行くと、川の水かさが増し、どろ色の水が、ごうごうとおそろし
いきお なが みる かわ なが あいだ ところどころ
い勢いで流れているのが見られます。こんなときは、ふだんは、川の流れの間の所々に
あつた なかす いし ころだらけの かわら ざっそう は ところ ぞうすい みず した
あった中州や、石ころだらけの川原、雑草が生えていた所まで、増水した水の下になって
しまいます。

おおあめ みず ま かわ なが いきお はげ なが ちゅう
大雨などで、どんどん水かさが増し、川の流れの勢いが激しくなると、流れの中
しん かわそこ いし した ちゅう
心あたりは、川底の石ころや、その下にかくれていたこん虫や、たおれたきくさね
も、おしなが なが なか かりゅう なが
も、おし流されていきます。魚たちも、流れの中に入ったら、どんどん下流に流されていき
ます。そのため、かくれ家を探して、同じような所に集まります。

かわ ぞうすい さかな が
川が増水したときの、魚のかくれ家

あふれた水なが なが なかす かわら ところ ぐさ ざっそう あいだ
あふれた水が流れている、中州や川原だった所の、たおれた草のかけや雑草の間などは、
なが なが が ところ ばしょ
流れがゆるやかなので、かくれ家としては、いちばんいい所です。こんな場所に、たくさ
さかな あつ なが ぎやく ほうこう あたま む およ なが ぎやく ほうこう
んの魚が集まって、みな、流れと逆の方向に頭を向け、泳いでいます。流れと逆の方向
なが おな はや およ なが おな ところ
に、流れと同じ速さで泳いでいけば、流されずに同じ所にとどまっています。

また、おお いわ で きし ちが なが かわそこ ぶか
また、大きな岩やつき出た岸の近くには、流れがぶつかって川底がえぐられ、深いふちが
できています。深いふちのそこ ほう はげ なが ぶか
できています。深いふちの底の方は、激しい流れもゆるやかになります。ふちの底の方に
げこんだ さかな そこ なか むし おおあめ あと い のこ
げこんだ魚や、ふちの底のどろの中にすむ虫たちは、大雨の後でも、生き残れます。

(監修・安部 義孝)

